

(陳受3第21号)

武蔵野市の温暖化対策加速に関する陳情

受理年月日

令和3年11月15日

陳情者

田中 稔

陳情の要旨

温暖化をプラス1.5℃未満にとどめるための努力が世界で進められています。国も2050年カーボンニュートラルを宣言し、2030年までの温室効果ガス削減目標をマイナス26%からマイナス46%（高みマイナス50%）へと大幅に引き上げました（家庭部門の新目標はマイナス66%、業務部門はマイナス51%）。温暖化対策は国の施策が大きな役割を果たしますが、地域の市民や事業者の省エネ・再エネ導入行動の一層の拡大も必要です。

以上のことから武蔵野市に対し、下記事項について陳情いたします。

記

次のような視点も参考にいただき、武蔵野市の温暖化対策加速を検討してください。

- 1 エコr eゾートでの開催に加え、市民の日常行動エリアでの温暖化学習会の開催や、「市内に既にある人が集まる場（市民・同業組合など）」への出前講座、オンライン講座の開催など、気候危機に関する啓発事業の強化を検討してください。
- 2 具体的な省エネ対策に関する情報提供の強化や、太陽光発電や事業所省エネ設備を初期費用ゼロで導入できるモデルの積極的な紹介を検討してください。
- 3 啓発企画づくりや対策検討プロセスに市民団体や事業者、一般市民が広く参加できるような進め方を検討してください。
- 4 環境部以外の各課とつながりのある市民団体や事業者にも啓発企画等への参加・協力を呼びかけるなど、全市的なムーブメントづくりを検討してください。
- 5 交流のある地方自治体等と連携し、ソーラーシェアリングなど景観調和型・地方振興型の再エネ拡大事業に市や市民が参加協力して電力供給を受ける、適産市消モデルづくり等へのチャレンジを検討してください。